

2021 年度大会における新型コロナウイルス感染症防止への対応について

1 選手・保護者自らが取り組むこと

- (1) 保護者は、試合当日自宅で①当日の検温、②軽度でも咳・喉の痛みなど風邪の症状はないか、③だるさ・息苦しさはないかなど健康状態を把握し、監督に報告。
- (2) マスクの用意。
- (3) 多めの水分を用意。
- (4) 濡れタオルの供用を禁止とすることからタオルを用意。

2 チームが取り組むこと

- (1) 試合当日監督は、①選手の検温結果、②健康状態を把握し、試合に出場できるか判断する。確認の結果は連盟が用意する「健康チェックシート」へ記入、大会本部へのメンバー表提出時に合わせて提出する。
- (2) 消毒液・石鹸の用意。
- (3) 移動は徒歩が望ましいが、公共機関、クルマ移動の場合は3密への対応をして確認。移動時はマスクを着用。
- (4) 選手の大会参加は自由として、決して強制する事のなき様、保護者への説明をお願いする。

3 試合前に取り組むこと

- (1) 選手はグラウンド内においてウォーミングアップ、グラウンド以外はマスクを着用。大人はマスクを着用とする。ウォーミングアップ・試合は大声を出さず、ソーシャルディスタンスを確保。
- (2) ミーティングでは全員マスクを着用し、密にしない。
- (3) 大会関係者・試合該当チーム以外のグラウンド出入を原則禁止、応援者、観客人数を極力減らす。
 - ・チームの応援はベンチ内選手の保護者のみ
 - ・1チームのベンチ以外の応援人数は20人までがベスト（ベンチ内以外のコーチも含む）
 - ・戸山運動広場野球場への入場時は検温を受けること
- (4) 六義公園運動場への入出場について、A面は公園側木戸の利用、B面は簡易管理事務所側通用口の利用厳守とし、連盟関係者以外のA面・B面間の移動を禁止とする。なお、B面大会実施チームが公園トイレを利用する際は、グラウンド外側を通行する事とする。
- (5) 隣接する公園へは選手も大人もトイレ以外ユニフォームを着ての立入りを禁止。

4 試合中における感染予防策

- (1) 試合中はグラウンドでプレーしている場合でも、希望する選手にはマスクの着用を認める。
- (2) ベンチの大人が選手に大声で指示を出すときは絶対にマスクを外さない。
- (3) キャッチャーマスクの使い回しは出来るだけ禁止。但し、複数個マスクを保有していない場合は、交代時にしっかりと除菌すること。
- (4) 飲み物は各自で持参し、ジャグを持ち込む場合は共用カップは禁止し、自カップまたは紙コップを使用する。
- (5) 濡れタオルの共有を禁止する。
- (6) 円陣・エールの交換は取りやめる。
- (7) 応援歌は禁止とし、大声での声援は控える。

- (8) 試合開始の整列は行わず、選手はベンチ前に整列し、挨拶を行う。試合終了時も同様。
- (9) 本部席へのあいさつは不要とする。
- (10) 守備側・攻撃側のタイムで選手を集めた場合は、ソーシャルディスタンスの確保に努める。
- (11) 応援団は予め定めたエリアでソーシャルディスタンスの確保に努め、声援は極力控える。
- (12) 投手の投球制限に伴う、投球数カウント表係はマスクを着用する。
- (13) 試合中に審判員へのお茶出しはしない。

5 試合後における感染予防策

- (1) 試合後の手洗いとうがいを徹底。
- (2) 試合終了後は速やかにグラウンドを退出する事。
- (3) 試合終了後2週間内に、監督、コーチ、選手及びその同居家族が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合は、少年野球連盟に対して速やかに連絡する。

第 38 回三区親善少年軟式野球大会

文京区少年軟式野球連盟

理事長 安藤 厚男

新宿区少年軟式野球連盟

理事長 黒葛原 浩

千代田区少年野球連盟

理事長 諸田 弘幸